

提 案 概 要

実施期日	8月1日(金)
部会名	中学校 外国語部会

1 提案テーマ 『言語活動の充実と言語材料の定着を図る指導の工夫』

2 単元(題材) Reading2 An All-purpose Cloth (学校図書TOTAL ENGLISH ①)
Lesson 2 Gestures (学校図書TOTAL ENGLISH ②)

3 学年 第1学年～第2学年

4 平成25・26年度神奈川県中学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

①言語活動の充実と言語材料の定着を図る指導の工夫・改善

- ・4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成するための言語活動の充実、語彙や文法の習得を言語活動と効果的に関連付けた指導の工夫・改善

5 学習指導要領との関連(内容項目)

第2章 第9節 外国語 第2 各言語の目標及び内容等 2 内容

(2) 言語活動の取扱い

ア(ア)実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動を行うとともに、(3)に示す言語材料について理解したり練習したりする活動を行うようにすること。

(4) 言語材料の取扱い

イ 文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語活動と効果的に関連付けて指導すること。

6 実践に向けての課題意識

授業において、生徒は、指示されたことはやるが、自らコミュニケーションをとろうとする意欲が弱いと感じてきた。英語での会話に自信をもつことが、コミュニケーションへの意欲を高めることにつながると考え、帯活動として、実生活に即した具体的な場面や状況を話題として設定し、フリートークを取り入れた活動「Happy Talk」を試みることにした。

7 実践の概要

「Happy Talk」は、提示された話題でペアで会話した後、クラス全体の前で会話の内容を報告するという活動である。1年生の9～12月に、教科書を使って会話練習をし、1月から「Happy Talk」を始めた。1年生の時は少人数クラスの全員が発表した。2年生では一斉指導のため「指名された4人が発表・有志2人が発表内容について質問をする」形で継続している。2年生では会話する時間を増やし、発表の文の数も増やした。生徒達は6月に来校する米国の中学生と会話することを目標として頑張ってきた。当日は、日頃の練習成果を確認する機会であるとともに、「もっと分かりたい・もっと伝えたい」と思った生徒が多く、英語学習のモチベーションを高めるよい機会になった。

8 成果と課題

「Happy Talk」を行うことで、クラスメートの意外な一面が分かり、関係作りに役立つとともに、「英語が話せるようになってきた」という自信が身につくようになった。

課題としては、生徒たちの表現したいことへの質問が多くてその対応に時間がかかるため、基本事項の定着との時間的両立を目指した工夫が必要だということが挙げられる。

9 予想される協議の柱

- ・意欲を引き出す言語活動の工夫について
- ・意欲を引き出す言語活動の具体的な評価方法について